

日振發第九八號

昭和十七年七月二日

日本語教育振興會理事長 松尾長造

文部大臣 橋田邦彦 殿

本會刊行物印刷所要物資配給申請證明書與書ノ件

本會刊行日本語讀本、ハナシコトバ學習指導書及ハナシコトバ教授用掛圖ノ印刷ニ際シ
使用セル物資配給申請ノ爲大日本教化圖書株式會社及恆陽社印刷所ヨリ別紙證明書ニ貴
省ノ與書願出有之ニ付本會ガ貴省外廓團體ナル旨與書賜リ度此ノ段申請仕候也

日本語教育振興會

東京市麹町區文部省內

昭和十七年五月

日

東京市芝區芝公園十二號地ノ一

大日本教化圖書株式會社

代表取締役 川口芳太郎

日本語教育振興會

會長 橋田邦彦 殿

證明願

豫テ御下命ノ日本語教科用圖書ノ製版竝ニ印刷・製本上必要ナル資材配給申請
致度ニ付左記御證明賜度此段及御願候也
尙貴會關係御當局ノ與書モ併セテ賜度特ニ御願申上候

記

一 日本語教育振興會ニ於テ刊行中ノ日本語教科用圖書次ノ通り發註中ナルコト

(一) 日本語讀本 卷二 八萬部

判形A列五號 本文一〇一頁内四色刷六四頁 表紙三色刷

(二) 日本語讀本 卷三 八萬部

判形A列五號 本文一〇八頁内四色刷七一頁 表紙三色刷

(三) ハナシコトバ學習指導書 上 參千部

判形A列五號 本文三一五頁藤綴脊クロース卷 表紙二十四オンス黄板
紙使用

(四) ハナシコトバ學習指導書 中 參千部

判形A列五號 本文三二〇頁藤綴脊クロース卷 表紙二十四オンス黄板
紙使用

(五) ハナシコトバ學習指導書 下 七千五百部

判形A列五號 本文二一〇頁藤綴脊クロース卷 表紙二十四オンス黄板
紙使用

二 日本語教育振興會ハ文部省ノ外府團體ニシテ與亞院ノ助成ニ據ルモノナルコト

以上

昭和拾七年 月 日

東京市京橋區木挽町一ノ十五

恒陽社印刷所

代表者 福田吾市郎



日本語教育振興會

會長 橋田邦彦 殿

豫テ御下命ノ「ハナシコトバ」教授用掛圖ノプロセス製版並ニ印刷上必
要ナル資材配給方申請致度ニ付左記御證明賜度此段及御願候也
尙貴會關係御當局ノ奥書モ併セテ賜度特ニ御願申上候

記

「日本語教育振興會ニ於テ刊行中ノ「ハナシコトバ」教授用掛圖（B列

二號判プロセス六色刷參拾五枚壹組ニテ「五〇〇部」發注中ナルコト

ニ日本語教育振興會ハ文部省ノ外廓團體ニシテ與亞院ノ助成ニ據ルモノ

ナルコト

以上





配給申請書

品名 亜鉛版

用途 日本照教育振興會「ハナシヨトバ」教授用掛圖

オフセット印刷ニ使用

数量 右ニ要スル使用量

四六半張三十五種各六色 10^冊 5[×]7 一枚六、八疋 一〇二〇疋

昭和十七年 月 日

東京市京橋區本機町一丁目十五

恒陽社印刷所

印刷受託者 藤田 吾市郎



亜鉛版統制協會 御中

昭和拾七年 月 日

東京市京橋區木挽町一ノ十五

恒陽社印刷所

代表者 福田吾市郎



日本語教育振興會

會長 橋田邦彦 殿

豫テ御下命ノ「ハナシコトバ」教授用掛圖ノプロセスヲ製版並ニ印刷上必要ナル資材配給方申請致度ニ付左記御證明賜度此段及御願候也
尙貴會關係御當局ノ與書モ併セテ賜度特ニ御願申上候

記

「日本語教育振興會ニ於テ刊行中ノ「ハナシコトバ」教授用掛圖（B列

二號判プロセス六色刷參拾五枚壹組ニテ、五〇〇部）發注中ナルコト

ニ日本語教育振興會ハ文部省ノ外廓團體ニシテ與亞院ノ助成ニ據ルモノ

ナルコト

以上





配給申請書

一、品名 アラビヤゴム

二、用途 日本語教育振興會「ハナシコトバ」教授用掛圖

寫真プロセス製版ニ使用

一、數量 右ニ要スル使用量 一〇〇疋

昭和十七年 月 日

東京市京橋區木挽町一丁目十五

恒陽社印刷所

受註者 福田吾市郎



アラビヤゴム統制會御中

昭和拾七年 月 日

東京市京橋區木挽町一ノ十五

恒陽社印刷所

代表者 福田吾市郎



日本語教育振興會

會長 橋田邦彦 殿

豫テ御下命ノ「ハナシコトバ」教授用掛圖ノプロセス製版並ニ印刷上必要ナル資材配給方申請致度ニ付左記御證明賜度此段及御願候也
尙貴會關係御當局ノ奥書モ併セテ賜度特ニ御願申上候

記

「日本語教育振興會ニ於テ刊行中ノ「ハナシコトバ」教授用掛圖（B列

二號判プロセス六色刷參拾五枚壹組ニテ、五〇〇部）發注中ナルコト

三日本語教育振興會ハ文部省ノ外廓團體ニシテ興亞院ノ助成ニ據ルモノ

ナルコト

以 上





配給申請書

品名 石油

用途 日本語教育振興會「ハナシコトバ」教授用掛圖

数量 オフセット印刷ニ使用

数量 右ニ要スル使用量 貳拾ガロン

昭和十七年 月 日

東京市京橋區木挽町一丁目十五

恒陽社印刷所

印刷受託者 福田吾市 郎



京橋區新川二丁目六番地

京橋區第八配給所

細山太七商店

御中

昭和拾七年 月 日

東京市京橋區木挽町一ノ十五

恒陽社印刷所

代表者 福田吾市郎



日本語教育振興會

會長 橋田邦彦殿

豫テ御下命ノ「ハナシコトバ」教授用掛圖ノプロセス製版並ニ印刷上必要ナル資材配給方申請致度ニ付左記御證明賜度此段及御願候也
尙貴會關係御當局ノ奥書モ併セテ賜度特ニ御願申上候

記

「日本語教育振興會ニ於テ刊行中ノ「ハナシコトバ」教授用掛圖（B列

二號判プロセス六色刷參拾五枚壹組ニテ「五〇〇部」發注中ナルコト
ニ日本語教育振興會ハ文部省ノ外廓團體ニシテ興亞院ノ助成ニ據ルモノ
ナルコト

以上





配給申請書

品名	揮發油
用途	日本師教育振興會「ハナシヨトバ」教授用掛圖 オフセツト印刷ニ使用
数量	右ニ要スル使用量
	貳拾ガロン

昭和十七年 月 日

東京市京橋區木挽町一丁目十五

恒陽社印刷所

印刷受註者 福田 吾市 郎



京橋區新川二丁目六番地

京橋區第八配給所

細山太七商店

御中

昭和拾七年 月 日

東京市京橋區木挽町一ノ十五

且場社印刷所

代表者 福田吾市郎



日本語教育振興會

會長 橋田邦彦 殿

豫テ御下命ノ「ハナシコトバ」教授用掛圖ノプロセス製版並ニ印刷上必要ナル資材配給方申請致度ニ付左記御證明賜度此段及御願候也
尙貴會關係御當局ノ奥書モ併セテ賜度特ニ御願申上候

記

「日本語教育振興會ニ於テ刊行中ノ「ハナシコトバ」教授用掛圖（B列

二號判プロセス六色刷參拾五枚壹組ニテ、五〇〇部）發注中ナルコト

三日本語教育振興會ハ文部省ノ外廓團體ニシテ興亞院ノ助成ニ據ルモノ

ナルコト

以上





配給申請書

品名	用途	数量
マシン油	日本語教育振興會「ハナシコトバ」教授用掛圖 オフセット印刷ニ使	右ニ要スル使用量 拾ガロン

昭和十七年 月 日

東京市京橋區木挽町一丁目十五

恒陽社印刷所

印刷受註者 福田吾市郎



京橋區新川二丁目六番地

京橋區第八配給所

細山太七商店

御中

昭和拾七年 月 日

東京市京橋區木挽町一ノ十五

恒陽社印刷所

代表者 藤田吾市郎



日本語教育振興會

會長 橋田邦彦 殿

豫テ御下命ノ「ハナシコトバ」教授用掛圖ノプロセス製版並ニ印刷上必
要ナル資料配給方申請致度ニ付左記御證明賜度此段及御願候也
尙貴會關係御當局ノ奥書モ併セテ賜度特ニ御願申上候

記

「日本語教育振興會ニ於テ刊行中ノ「ハナシコトバ」教授用掛圖（B列

二號判プロセス六色刷參拾五枚量組ニテ「五〇〇部」發注中ナルコト
ニ日本語教育振興會ハ文部省ノ外廓團體ニシテ興亞院ノ助成ニ據ルモノ
ナルコト

以上



信

小口配給申請書

品名 化學用 九八%純アルコール

工業用 アルコール

用途 日本語教育振興會「ハナシコトバ」教授用掛圖

寫眞及プロセス製版ニ使用

數量 右ニ要スル使用量

化學用 九八%純アルコール 四 罐

工業用 アルコール 六 罐

昭和十七年 月 日

東京市京橋區木挽町一丁目十五

恒陽社印刷所

受註者 福田吾市郎

東京市神田區佐久間町二丁目十三

東京プロセス製版支那

製造者 市岡 岱



アルコール販賣株式会社

日本橋西出張所 御中

昭和拾七年 月 日

東京市京橋區木挽町一ノ十五

恒陽社印刷所

代表者 福田 吾市郎



日本語教育振興會

會長 橋田 邦彦 殿

豫テ御下命ノ「ハナシコトバ」教授用掛圖ノプロセス製版並ニ印刷上必要ナル資材配給方申請致度ニ付左記御證明賜度此段及御願候也
尙貴會關係御當局ノ奥書モ併セテ賜度特ニ御願申上候

記

「日本語教育振興會ニ於テ刊行中ノ「ハナシコトバ」教授用掛圖（B列

二號判プロセス六色刷參拾五枚壹組ニテ、五〇〇部）發注中ナルコト
三日本語教育振興會ハ文部省ノ外廓團體ニシテ興亞院ノ助成ニ據ルモノ
ナルコト

以 上





配給申請書

一 品 名 強青酸加里

一 用 途 日本師教育振興會「ハナシコトバ」教授用掛圖

寫真プロセス製版ニ使用

一 數 量 右ニ要スル使用量

三十五疋

昭和十七年 月 日

東京市京橋區木挽町一丁目十五

恒陽社印刷所

受註者 福 田 吾 市 郎



東京市神田區佐久間町二丁目十三

東京プロセス製版支部

製造者 市 岡 信

日本青化賣遊販賣株式會社 御中

昭和拾七年 月 日

東京市京橋區木挽町一ノ十五

恒陽社印刷所

代表者 福田吾市郎



日本語教育振興會

會長 橋田邦彦 殿

豫テ御下命ノ「ハナシコトバ」教授用掛圖ノプロセス製版並ニ印刷上必
要ナル資材配給方申請致度ニ付左記御證明賜度此段及御願候也
尙貴會關係御當局ノ奥書モ併セテ賜度特ニ御願申上候

記

一、日本語教育振興會ニ於テ刊行中ノ「ハナシコトバ」教授用掛圖（B列

二號判プロセス六色刷參拾五枚壹組ニテ、五〇〇部）發注中ナルコト

二、日本語教育振興會ハ文部省ノ外廓團體ニシテ興亞院ノ助成ニ據ルモノ

ナルコト

以 上





特別配給申請書

一、品名 全藍色八切型乾板

一、用途 日本語教育振興會「ハナシコトバ」教授用新聞
寫真及プロセス製版ニ使用

一、數量 右ニ要スル使用量 三十五打

昭和十七年 月 日

東京市京橋區木挽町一丁目十五

恒陽社印刷所

受註者 福田吾市 郎

東京市神田區佐久間町二丁目十三

東京プロセス製版支部

製造者 市岡 倚



オリエンタル寫眞工業株式會社

御 中

昭和拾七年六月 日

東京市京橋區木挽町一丁目十五番地

合資會社 恒陽社印刷所

代表者 福田 吾市郎



日本語教育振興會

會長 橋田 邦彦 殿

豫テ御下命ノ「ハナシコトバ」教授用掛圖及教授用繪本竝ニ教課書等印刷スルニ必要ニ付申請致度候間左記御證明賜リ度此段及御願候也
尙貴會關係御當局ノ奥書モ併セテ賜リ度特ニ御願申上候

記

「日本語教育振興會ニ於テ刊行中ノ「ハナシコトバ」教授用掛圖及教授用繪本竝ニ教課書等發註中ナルコト

ニ日本語教育振興會ハ文部省ノ外廓團體ニシテ興亞院ノ助成ニ據ルモノナルコト

以上





申請書

品名	数量
オフセット四六全判本機 直結モーター付	貳台
オフセット菊全判本機 直結モーター付	貳台
オフセット四六全判刷版機 直結モーター付	壹台
オフセット四六半截校正機	壹台
オフセット四六全判寫真直燒機 附屬一式付	壹台

用途 日本語教育振興會教授用掛圖

「ハナシコトバ」及教授用繪本並ニ教課書等印刷スルモノ
トス

昭和拾七年六月 日

東京市京橋區木挽町一丁目十五番地
合資會社 恒陽社印刷所
代表者 福田吾市郎

東京市本所區東駒形三丁目拾番地
小森印刷機製作所

小森善一殿

昭和拾七年 月 日

東京市京橋區木挽町一ノ十五

恒陽社印刷所

代表者 福田吾市郎



日本語教育振興會

會長 橋田邦彦 殿

豫テ御下命ノ「ハナシコトバ」教授用掛圖ノプロセス製版並ニ印刷上必要ナル資材配給方申請致度ニ付左記御證明賜度此段及御願候也
尙貴會關係御當局ノ奥書モ併セテ賜度特ニ御願申上候

記

「日本語教育振興會ニ於テ刊行中ノ「ハナシコトバ」教授用掛圖（B列

二號判プロセス六色刷參拾五枚整組ニテ「五〇〇部」發注中ナルコト
ニ日本語教育振興會ハ文部省ノ外廓團體ニシテ興亞院ノ助成ニ據ルモノナルコト

以上





配給申請書

一品名 鏡 額

一用途 日本師範教育振興會「ハナシコトバ」教授用掛圖

吊金器ニ使用

一數量 右ニ要スル使用量 一分丸 一〇〇〇尺

昭和十七年 月 日

東京市京橋區本挽町一丁目十五

恒陽社印刷所

受託者 關 田 吾 市 郎

東京市目黒區上目黒一丁目二一五番地

機械製造業

製造者 小 川 春 雄



板硝子使用證明願

東京市京橋區木挽町一ノ一五

申請者 福田 吾 市 郎



日本語教育振興會
會長 橋 田 邦 彦 殿

記

一 製造業者 旭硝子株式會社

二 品種、數量 (イ) 品種 五耗厚硝子

(ロ) 數量 壹百平方呎入貳拾個

三 用 途 文部省指定、外地送り日本語教育振興教授用地圖「ハナシ

コトバ」プロセス製版寫真ニ使用

四 納 期 六 十 五 日 間

右使用ノ事實ヲ御證明被下度此段及御願候也

昭和拾七年 月 日

供閱

理事

常任理事

總主事

主事

昭一七文發第四八四號

昭和十七年七月二日

興亞院文化部長 松村

日本語教育振興會
會長 橋田邦彦 殿

出版物用紙使用量調査ニ關スル件

用紙配給統制上必要ニ付貴會發行ニ係ル出版物用紙使用量等別紙様式ニ依リ取調ノ上來ル七月十五日迄ニ御提出相成度
尙今後出版物用紙配給ニ關スル申請ハ當院ヲ通ジ關係筋へ提出スル様御取扱相成度

内閣

日本語教育振興會
昭和 17.7.3.
第 號

團體名

(不) 定期出版物

出版物名	回發數	一回平均發行部數	均一部平均頁數	版型	使用紙	一ヶ年紙使用量	備考
〇〇〇〇	年一回	八〇〇〇	六四	A・〇	本文上更紙 六五 紙ア一ト 四〇	三三連	
〇〇〇〇	年六回	一八〇〇〇	一六四	B・〇	本文更紙 三二 紙ア一ト 八〇	一一五八連	用紙業者持

注意

一、表中朱書ハ記載例ヲ示ス
 二、年三回以上刊行ノモノト然ラザルモノトノ二類ニ分テ前者ヲ不定期、後者ヲ定期トシテ各別紙ニ記載ノコト
 三、用紙ヲ業者側ニ於テ調達スルモノニアリテハ備考欄ヲ其旨記入ノコト

内閣